

(連結情報)

I. 銀行および子会社等の状況

●企業集団の組織構成

株式会社佐賀共栄銀行 ― 国内 ―― 本店ほか支店33か店、合計34か店

●連結子会社の状況

当中間連結会計期間において、当行の連結子会社であった株式会社きょうぎんビジネスサービスが、平成18年6月末に清算終了したため、該当する会社はなくなりました。

●営業の概況

当中間連結会計期間 $\left[\begin{array}{l} \text{自 平成18年4月 1日} \\ \text{至 平成18年9月30日} \end{array} \right]$

当中間連結会計期間の業績は次のとおりとなりました。

預金につきましては、個人預金は増加したものの、一般法人の資金繰り充当による減少や地方財政の悪化による公金の減少により前中間期末比41億6千5百万円減少し、当中間期末残高は2,307億2千3百万円となりました。

貸出金につきましては、地方公共団体の債務縮小や不良債権の最終処理、公共工事等の減少による建設業界の環境悪化の影響等で、前中間期末比101億9百万円減少し、当中間期末残高は1,787億8千7百万円となりました。

損益面につきましては、収益性の高い無担保消費者ローンの減少等、資金運用収益は減少しました。役務収益が減少したほか、国債や株式等の有価証券売却益が減少して、連結経常収益は、前中間期比5億4千8百万円減少して33億3千6百万円となりました。

一方、連結経常費用は、預金利回の上昇を主因として資金調達費用が増加し、無担保消費者ローンの支払保証料の減少により役務費用は減少しました。個別貸倒引当金繰入額も増加したものの、一般貸倒引当金の大幅減少により、前中間期比3億1千4百万円減少して29億9百万円となりました。

この結果、連結経常利益は、前中間期比2億3千5百万円減少して4億2千6百万円となりました。

また、法人税、住民税及び事業税等を控除しました連結中間純利益は、前中間期比1億1千6百万円減少して1億6千9百万円となりました。